



もくじ

- 1 年頭のご挨拶
- 2～3 部署紹介
- 4～5 クリスマス会
- 6 テーマ別改善運動発表会
- 7 マイ・ワールド
- 8 行事食

リハビリテーション科トマト・サラダグループの皆さんが紙をちぎって作成した成年の壁面画です。幸多き年となりますように…



2018年 年頭のご挨拶

院長 柳瀬 治

利用者・ご家族の皆様、職員の皆様、明けましておめでとうございます。
職員皆さんのたゆみない尽力と利用者・ご家族の皆様のご協力のおかげで、当センターは穏やかな正月を迎えることができました。また、年末年始に勤務された皆さん、仕事初めの準備を担当した皆さんに深く感謝いたします。ご苦労さまでした。

当センターの使命は、安全で安心できる質の高い療育（医療・看護・生活支援サービス）を提供し、長期入所者の皆様のいきいきとした潤いのある生活と生命を守ることはもとより、在宅で過ごされている障害児者の方々を支援していくことです。

さらに、昨年3月に厚生労働省から、重症心身障害施設における児者一貫体制の恒久化の方針が示されましたが、その前提条件として、「入所者の皆様への年齢や状態に応じた適切な日中活動の提供」が課せられました。これらの使命や課題を高い水準で達成していくには、医療職・福祉職・事務職等多職種間の一層の協力と連携、利用者・ご家族の皆様との円滑なコミュニケーションが大切になると考えております。

当センターでは、昨年大規模改修工事の実施設設計がほぼ完成し、前段階としての仮設棟の建築も始まりました。今年の10月には、完成した仮設棟への移転を予定しています。利用者・ご家族の皆様にも職員の皆さんにも、いろいろとご負担をおかけするかとと思いますが、職員一同一丸となって、ご家族、福祉保健局および関係諸機関のご協力を賜りながら、安全で信頼される療育を進め、使命を果たしてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

2018年が皆様にとりましても実りの多い年になりますようお祈りいたします。

部署紹介

五感で秋を感じる南公園散歩



第1病棟 主任指導員 廣川太一朗

今年度から新たな病棟小行事として誕生した「ミニ遠足」。今回のテーマは「みんなで都立南公園へ散歩に行こう」です。昨年10月12日(火)と10月26日(火)の2班に分けて実施しました。

両日とも秋晴れの穏やかな午後、鳥のさえずりを聞き、変化する木々の紅葉を楽しみ、頬に当たる秋風を感じながらの散歩を楽しみました。公園内では大道芸人のクラウンじっさいーさんをゲストにお招きし、パフォーマンスを楽しみました。利用者、ご家族、職員みんなが笑顔になり、笑い声や歓声、拍手が公園内に響いていました。

学校帰りの小学生や犬の散歩の方たちも立ち止まり、見て行かれました。地域の方にも楽しんでいただけたようで良かったです。

散歩が終わって、ご家族より「とっても素敵な時間でした。ありがとうね」と声をかけていただきました。その言葉がとても嬉しかったです。これからも「利用者さんの笑顔のために・・・喜んでもらおうよ!!」の精神で、病棟のみんなと共に、一日一日を大切に積み重ねていきたいと思えます。



小院内活動を増やして外に出よう

第4病棟 保育士 影澤 勝

今年も無事に新年を迎えることができました。昨年は、いつものように色々行事や活動を行いました。特に力をいれて取り組めたものは小院内活動でした。ここ数年、外に出る機会が減少していましたので、月の計画の中で多めに割り振ることにしました。

通所バスが使える時は、ドライブを楽しんだ後にドライブスルーで喫茶タイム、モノレールを利用する時は、「ららぽーと」でのデザートタイムなどが中心です。外でのんびりとした時間を過ごすことができる良い機会でした。

昨年は、とてもおめでたいこともあり、SM様が11月18日に60歳の誕生日を迎えられ、20日にお兄様も参加のもと「還暦を祝う会」を開きました。会の中での一番の見せ場は「スライドショー」で、小さい時から現在までを時間の経過に合わせて写真で紹介し、担当職員による楽しいコメントで会場は大いに盛り上がりました。昔も今も変わらず前髪をおでこにぴったりとつけ、ご自分をアピールしていました。豪華なランチも楽しまれ、ご満悦で最高の笑顔でした。

新年も、昨年同様に楽しい企画を行っていききたいと思えます。



ウィークで多彩なプログラムを提供

通所 指導員 木島栄子



通所部は、毎日医師1名、看護師9名、生活支援員6名で勤務にあたっています。月曜日から金曜日まで、1日に24名～28名の利用者様に利用いただいています。活動を通して、エクササイズ、ムーブメント等で体を動かしたり、制作、ゲーム、調理、散歩、映画鑑賞、音楽活動等で余暇を楽しんだり、スヌーズレン、マッサージ等でリラックスしていただいています。利用者様の五感にうったえかけることで、生き生きと笑顔で過ごせるよう職員一丸となって皆様を迎えています。

デイルームでは、毎日楽しい笑い声が響いています。また、ご家族の皆様の思いやご意見にも寄り添いながら、最大限のサービスを提供できるよう日々力を合わせています。季節行事として夏には夏ウィークと称し、一週間様々な夏を感じるプログラムを提供したり、冬にはクリスマスウィークと称し、クリスマスを楽しめる多彩なプログラムを提供したりしています。

昨年行われた夏ウィークの様子を写真でご紹介したいと思います。何と7色(味)の中から思い思いに選んだ綿あめです。部屋中が甘い香りに包まれ、口の中に入れると溶けるので、皆が楽しめました。



また、多摩地域施設交流会が年に一度開催されており、当センター通所も参加しています。学生時代の旧友との懐かしい再会の場であり、名刺でじゃんけんぽんといったゲームを通して、交流を深める場もあります。様々な活動を利用者様に提供させていただくことで、利用者様の生活の質の向上に努めています。

秋の音楽会『サウンドオブミュージック』の世界を楽しみましょう



リハビリテーション科 心理指導員 宮武 薫

昨年の11月9日(木)に毎年恒例の秋の音楽会を行いました。サウンドオブミュージックの音楽に合わせて、8つのプログラムを楽しみました。車椅子ダンスでは『もうすぐ17歳』の曲に合わせて軽快にダンスを披露し、『ドレミの歌』でハンドベル演奏を、『エーデルワイス』ではシフォン布で風を感じました。みなさんでアルプスの清々しい草原の中で、気持ちの良い時間を過ごしました。最後には、音楽療法士岩品さんのピアノに合わせて、朗読を行って幕を閉じました。



見学にいらした方々にも参加していただけるようなプログラムを作っています。ぜひ、次の音楽会にはみなさんもいらして体験してくださいね。



クリスマス会

夢と魔法のクリスマス

第2病棟 保育士 高橋達也

今年のテーマは、ディズニーランドを参考に「夢と魔法のクリスマス」にしました。始まりは、キャラクターに扮した利用者さんの魔法によるツリー点灯です。可愛い衣装をまとった七人の小人とミッキーに仮装した利用者さんによって、ツリーが点灯します。その後は、きらきらと光り輝くエレクトリカルパレードです！ 職員が工夫を凝らした車椅子が、皆さんのテーブルを練り歩きました。「アラジン」や「クマのぷーさん」、人気キャラクターの「スティッチ」など、物語の中から出てきたようでした。ご家族の方も皆さん写真撮影に大忙しでした。もしかしたら、第2病棟の前にスティッチやアラジンの剣が飾ってあるかも知れませんか？ 是非見にきて下さいね。



軽食タイムでは、栄養科さんに作っていただいた、ミッキーの形にデコレーションされたアイスやババロアがとても素敵で、利用者さんはもちろんご家族の方にも喜んでいただきました。ディズニーランドにあるようなメニューでした。

第二部のサンタクロースをクリスマス会に呼ぶための車椅子ダンスでは、今年流行した「ダンシングヒーロー」の曲に合わせてカッコいいダンスを、また「アナと雪の女王」の曲に合わせて優雅なダンスを披露しました！どちらも踊っている最中の笑顔が印象的でした。手作りのキャンドルに火を灯していくキャンドルサービスでは、各テーブルを職員と利用者さんが回り、温かな魔法をテーブルに届けてくれました。手作りキャンドルは、なんと塩を使って作られていましたね。事前に利用者の皆さんが、塩に色をつけて作ってくれていました。一つ一つテーブルに明かりが灯るのは、とっても幻想的でした。おかげで無事にサンタクロースも登場し、プレゼントと素敵な笑顔が会場にあふれました。もちろんサンタとの記念写真も忘れずに撮りました。



今年のクリスマス会では、利用者一人ひとりが主役になれるようなクリスマス会にと考えました。また、キャラクター達の衣装やエレクトリカルパレードの電飾や小道具、車椅子ダンスなど職員が手作りした物が多く、とても温かなクリスマス会でした。写真を見返すと利用者さんの笑顔がたくさんあり、ここに全て載せたいぐらいです。大規模改修工事のため、プレイルームでのクリスマス会は2年間おあずけです。新しくなったプレイルームで、クリスマス会ができる日が待ち遠しいですね。



サンドアートで温かいクリスマス

第3病棟 指導員 渡邊美奈

皆さんは、サンドアートを観たことがありますか？ サンドアートにはいくつかの種類がありますが、今回お見せしたのは、物語を次々と砂絵で描きながらスクリーン



で楽しむサンドアートパフォーマンスです。クリスマスにプレゼントを配るサンタさんとトナカイさんが、あるお家でケーキのプレゼントをもらったという心温まるサンタさんの一日を、サンドアートで披露してくれたのは、サンドアーティストことT職員と6人の利用者さんでした。



次に、クリスマスとセンターにちなんだ

テーブル対抗クリスマスクイズです。同時に流れてくる4曲のクリスマスソングの聞き分けでは、皆で頭を捻り、チームワークで挑みました。



そして、名司会者S職員の体重当てクイズ。答えは、その場で体重計に乗ってもらいます。肉の付き具合を触って確かめるご家族や、自分の体重とこっそり比べる職員。おいしいニアピン賞ができましたが、S職員の秘密を皆で知ってしまったティータイムでは、栄養科手作りの可愛らしいイチゴのサンタさんがケーキに寄り添っていました。



クリスマスジャズライブでは、体を揺らしてリズムをとる方や、ノリノリで手拍子をする方、心地よく目を閉じる方、利用者の皆さんがそれぞれにジャズを楽しまれていました。小さい頃に家族や学校、友達と過ごした手作りのクリスマス。そんなクリスマスを思い出し、温かな気持ちになれたクリスマス会でした。



平成29年度 テーマ別改善運動院内発表会

ベッド柵上げ忘れ防止ツールの考案が最優秀賞に輝く

事務部企画係 緑川治男

今回で6回目となるテーマ別改善運動（QCサークル活動）の院内発表会が、10月13日（月）に当センター研修室で開催されました。

今回は、サービス向上をテーマとする5チーム、経営改善をテーマとする1チーム、その他をテーマとする1チームの計7チームで発表が行われました。各サークルの発表中、会場からは感心の声や時には笑い声など、様々な反応があり、会場にいた全員が発表に聞き入っていました。

どの発表も力作で、甲乙つけ難いものばかりでしたが、その中で、「ベッド柵の上げ忘れを防ぐツールと対策」が最優秀賞を受賞しました。ベッド柵の上げ忘れに有効な器具の作成と検証を実施し、ヒューマンエラーの要素を排除した物理的対策を考案した点が評価されました。

最優秀賞のテーマは、平成30年1月22日（月）に東京都庁で行われるテーマ別改善運動発表会に当センター代表として参加します。



最優秀賞

「ベッド柵の上げ忘れを防ぐ ツールと対策」

ベッド柵 ほんとはみんな アゲ隊

生活支援科 松永正人 奥野智則

看護科 山川敦嗣 吉田等 長谷川雅也 小菅未納

優秀賞

「経管栄養今昔物語～本当にこれでいいの？～third season」

栄養セット洗わず捨て隊 看護科 堀川弘子 他

「困った時がチャンスです～♪良い車椅子作製、改善し隊♪」

車椅子作製を考える会 リハビリテーション科 小林 愛 他

その他発表演題

「検体管理加算Ⅰの取得」

労少なくして益多し隊 薬剤検査科 長澤准一 他

「ちょっとまった！その固定必要ですか？」

固定考察帯 生活支援科 村上英雄 他

「かかわりの前に手指衛生」

手指衛生強化隊 看護科 中島弘樹 他

「個別の関わりの定着を目指して」

個別の花を咲かせ隊 看護科 内海公弥子 他

クリスマスイブの思いがけないプレゼント

昨年クリスマスイブは、当直明けでした。午後になって眠くて、たまった仕事が終わらず途方に暮れました。ふとラジオをつけると、中学生の頃に聞いていたクリスマスイブのチャリティー番組が聞こえてきました。もう40年以上も前から続けている、目の不自由な方に音の出る信号を贈るための番組です。当時は、番組に電話や手紙でメッセージが届けられました。目が不自由な方、病気を抱えた方や家族の話に心が震えました。山形に住んでいたため、東京の放送局の番組は雑音混じりでしたが、耳を澄まして一晩中聞きました。



昨年イブの放送でも、生まれながら目が不自由なお子さんを持つお母さんの言葉には涙を禁じ得ませんでした。将来を悲観し心中を考えた日に、母が好きな曲に合わせて声を出さず我が子に目を醒まされたこと、この子が自分を選んだのではなく、自分のために生まれてきたと思う今。多くの人に前に向かうように支えてもらえた事への感謝の言葉。気づけば、机に向かい仕事を始めていました。ラジオのメッセージは、何よりもの僕へのプレゼントになりました。(江添隆範)



思うこと 感じること 伝えたいこと

My World

Vol.6

私の趣味はガーデニングです

玄関の周りの小さな花壇に、四季折々の花を育てています。もともと花は大好きでしたが、義父の遺品であったクンシランの鉢を本を見ながら育て、綺麗な花を咲かせてから楽しくなりました。夏は赤紫のペチュニアを小さい苗から育て、大きく花を咲かせることも醍醐味です。手をかけると花は素直に育ち、私の心に潤いをもたらしてくれます。育児に似ているかな・・・？

職場では、3棟職員の園芸係が四季折々の花を育ててくれています。春にチューリップが一斉に咲き、『3棟のハウステンボス』と紹介してくれました。見事でした。また日よけに朝顔やパッションフルーツを植え、美味しく味わいました。出かけることのできない利用者さんのアロママッサージに花壇の花を使い、雰囲気作りもしてくれました。職員が花を育てることで利用者、家族、職員と楽しい日々を過ごせること



3棟のハウステンボス

に感謝です。
(林 美和子)



夏の花壇



アロママッサージ用の花々



行事食



常食



ソフト食



ご飯はリースをイメージして型を抜き、主菜のお魚はクリスマスカラーの赤と緑で彩りよく見た目にも楽しんでもらえるように工夫しました。

迎春



常食



ソフト食



おせちの盛り合わせの他、主菜の鰯は新年を迎えるお魚として、また大和蒸しのとろろ芋は1年間粘り強くたくましく過ごせるようにと願いを込めました。

今後も栄養科一同美味しい食事を提供していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

編集後記

寒くなってくると、焚き火が恋しくなります。ユラユラと炎が揺れるのを見ていると、とても気持ちが落ち着くものです。子供達も焚き火が好きらしく、キャンプ場に到着すると、まず薪を拾いに行き、焚き火の最中はとても静かに集中しています。寒い冬の間道具のメンテナンスをしながら、暖くなるのを待ち望んでいます。(H・M)

大忙しの年末年始も終わり、毎年のことながら、少し太ってしまいました。まあ、たくさん食べたのだからしょうがないかなと思いつつ、食欲はとまらない今日この頃です。そんな中、最近、和菓子にはまりつつあります。というのも、某和菓子店の最中なのですが、ちょっと変わっているんです。最中の皮が揚げてあるんです。しかも、塩がふってあり、その塩味とあんこの甘さの加減が絶妙です。もちろん、皮はパリパリです。みなさんもぜひ。(T・S)

仮設棟工事進行中



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第91号

編集 院内報そよ風編集委員会
発行日 平成30年1月15日
発行 東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘3-44-10
Tel 042-567-0222